

1 単元の目標

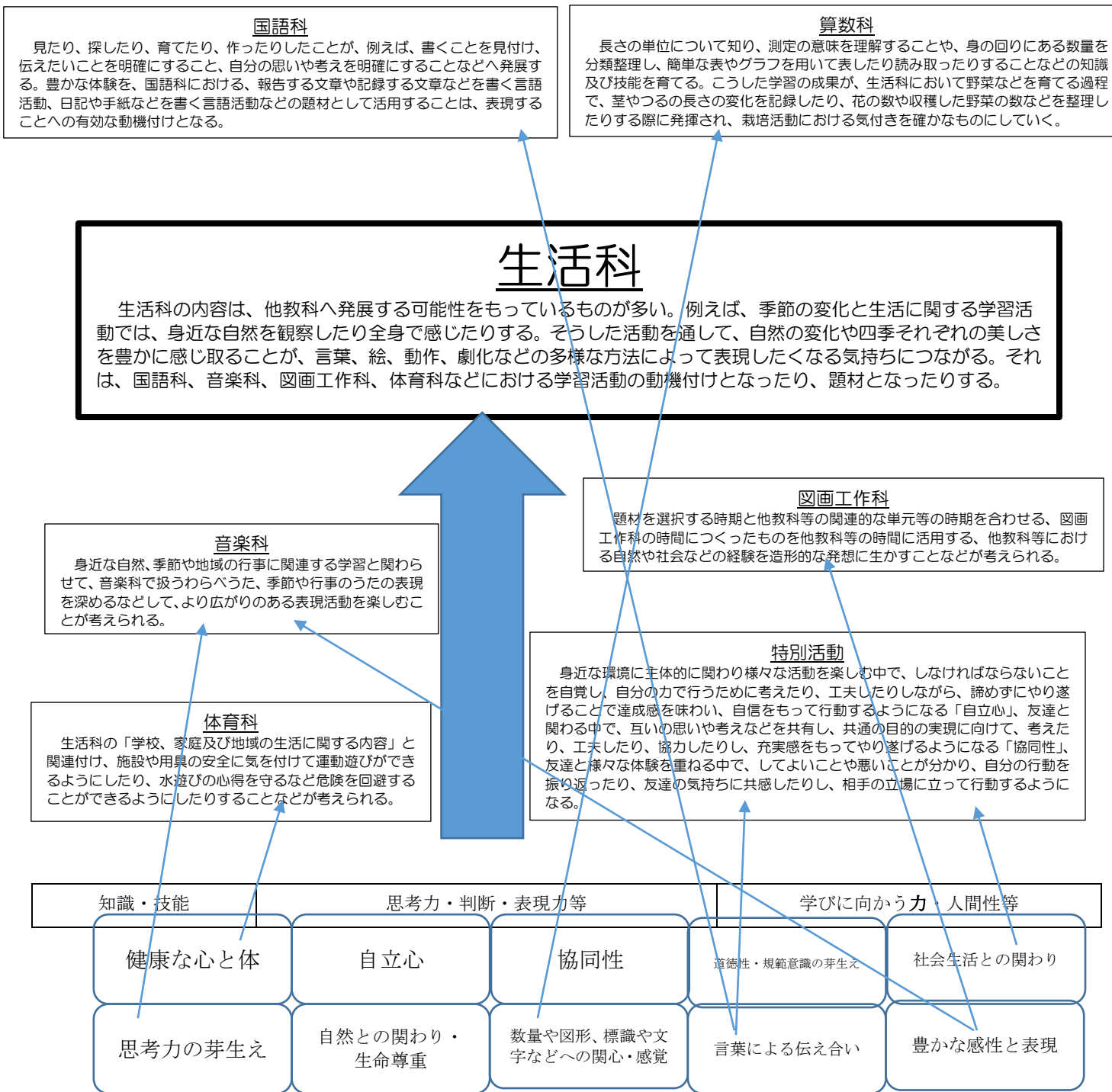
○友だちや学校生活を支える人と関わり、友だちの存在やよさに気づき、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。

2 単元の評価規準

知識及び技能の基礎	思考力・判断力・表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 学校の施設の位置や使い方に気付いている。 学校の友だちに存在やよさに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期の教育で使っていた施設との共通点を探しながら、学校の中を歩いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、一緒に遊びや学習をしていこうとしている。

3 スタートカリキュラムの概念図

スタートカリキュラムの概念図



地域の実態

越知の実態

○保護者の願い・環境

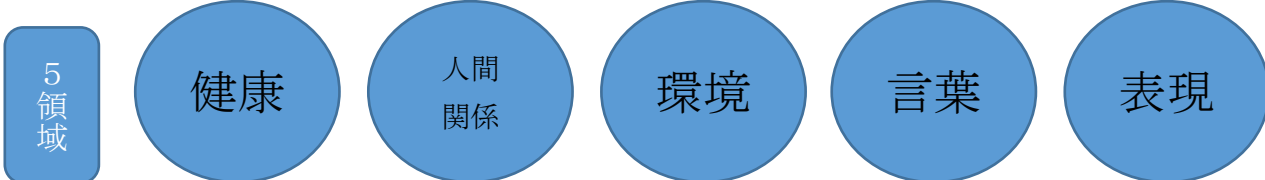
- 越知の歴史や文化を受け継ぎ、越知に誇りをもち生活できるようになってほしい。
- 自分や他者を大切にできる子どもに育ててほしい。
- 保護者の低年齢化により、集団に入りにくく、PTA活動に参加しない家庭もある。

○地域

- たくさんの自然に囲まれている。
- 越知の子どもたちを大切にしてくれ、愛情をもって見守ってくれる温かい環境がある。
- 多方面において地域ボランティアがあり、学校教育に協力的である。

○子ども

- 生活環境や学力に個人差が大きく、二極化傾向が見られる。
- コミュニケーションが上手に取れない子どもがいる。
- 明るくて素直な子どもが多い反面、人間関係の固定化が見られる。



<p>1 単元名 がっこう だいすき</p> <p>小単元 「めざせ！おちマスター ～がっこうたんけんへん～」</p>	<p>4 本時の目標 学校の施設の位置や使い方に気付いている。</p> <p>5 評価規準 【知】学校の施設の位置や特徴などに気付いている。[発表・観察]</p> <p>6 本時の展開 (3/8)</p>			
<p>2 就学前の様子 本学級の児童は保育園、幼稚園の2園から入学してきている。 保育園では、友だちと関わり合う中で相手の気持ちを考えたり、共感したりすることができる園児がおり、中には人の意見を聞いて新しい考えを生み出すこともできる園児もいる。 幼稚園では、少人数でも共通の目的に向かって子ども同士で話し合ったり、友だち同士で遊びのきまりを作ったりすることができる。 両園ともに、活動にめあてをもって、最後までやり遂げようとする意欲が見られている。しかし、友だちと生活をしていく中で、自分の思いが強く出てしまったり、自分の思いをうまく伝えることができず、きつい言い方になってしまったりすることがある。</p> <p>3 教材観 本単元では、学習指導要領の(1)「学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしようとする。」を受けて設定をした。 児童は小学校の生活において、先生や友だちと一緒に学ぶことで学習する楽しさを味わい、集団の中での自分の行動の仕方を学んでいく。本単元では、学校の教室や施設を探検し、様々な友だちや先生と関わり合う中で学校での過ごし方、学習中のきまりなどを知ることにより、意欲や自信をもって学校生活を送ることをねらいとしている。そのため本時では、事前に出た学校の不思議に感じたひみつを出し合って、5年生とともに確認することで新たな不思議をみんなで出し合い深めていきたい。 児童は意欲をもって小学校へ入学してくる。そのやる気を持続させることが大切だと感じている。児童一人ひとり周囲の環境で教師が予想できないぐらいの成長をする可能性を持っている。この学習をきっかけに、意欲をもつてのびのびと生活ができ、学習ができるようになるのではないかと考える。</p> <p>4 スタートカリキュラムについて 本校では、これまでに教育委員会が主体となって保・幼・小が部会を通して連携し、スタートカリキュラムの意義を確認し、5歳児後半の年間指導計画や越知町独自の保幼小接続期カリキュラムについて研究を進めている。その研究の中で、幼児期と児童期の学びのつながりが最も大切だと確認し合い、越知町のめざす子どもの姿に向かって授業交流や参観保育などを行っている。 本年度はスタートカリキュラムを研究の中に位置づけ、本校の主体的な学びとどう関わらせていくのか実践研究していく。</p>	<p>学習展開 ・本時における願う児童の姿</p> <p>導入 13:15</p> <p>課題設定 問いの共有</p> <p>見通し 13:25</p> <p>ペア学習 (出し合い) 13:30</p> <p>全体学習 13:35</p> <p>まとめ 13:45</p> <p>振り返り 14:00</p>	<p>1. なかよしタイム (10分) ○読み聞かせを聞く。</p> <p>2. 学習計画を見て、課題を確認する。</p> <p>3. 課題を解決するための見通しをもつ。 ○見通しをします。 ・学習することと方法を確認します。</p> <p>4. ペア学習をする。 ○学校めぐりをしたペアで気づいたことを言いましょう。 ・ぼくは、トイレがたくさんあることに気付きました。 ・私は、音楽室には楽器がたくさんあることに気付きました。 ・私は、保健室の隣の教室に鍵がかかっている、びっくりしました。何があるのかな。 ・ぼくは、机がない教室を見つけました。そこでは、何をするのか。</p> <p>5. 全体学習をする。 ○ペアで話したことをみんなに言いましょう。 ・ぼくたちは、机のない教室があることに気付きました。そこでは、何をするのか不思議に思いました。 ・私たちは、授業をしているときに2年生も6年生も前に2人いることに気付きました。なんでだろうと思いました。 ・ぼくたちは、靴箱が多いことに気付きました。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <p>7. 学習の振り返りをする。 ○ぐるぐるタイムをして、いろいろな友だちや先生と振り返りをしましょう。 ・今日は学校の不思議を見つけることができてよかった。 ・学校の不思議がわかってうれしかった。</p>	<p>・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価</p> <p>・児童が本時の課題に迫れるような本の読み聞かせをする。</p> <p>・前時に撮った写真を掲示しておき、視覚的にわかるようにしておく。</p> <p>キーワード ・ふしぎ ・わかったこと ・ひみつ</p> <p>・</p> <p>【知識及び技能の基礎】 ◇学校の施設の位置や特徴などに気付いている。 [発表・観察]</p> <p>・話し合いを振り返り、自分が頑張ったところを自己評価できるように助言をする。 ・周りの教師は、児童の頑張りを評価し、たくさん褒める。</p>	<p>幼児教育の特性を生かした指導のポイント</p> <p>ポイント1 環境 A 援助 7 児童が楽しく授業に入れるようにする。</p> <p>ポイント2 姿② 環境 E 前時のつながりから自然と課題につながるように工夫する。</p> <p>ポイント3 姿⑥ 環境 C 援助 2,3,8,11 思考が止まった時には児童の思いをじっくりと聞き、提案する。</p> <p>ポイント4 姿②③⑥⑨ 援助 2,4,8 友だちとの意見を言い合う中で認める・共感するなどの支援を大切にし、児童が安心して発言できるようにする。</p> <p>ポイント5 姿⑤⑨ 援助 2,3,5,8,10 1時間で学んだことを自分の言葉で教師や友だちに伝え、自信をもって振り返りができるようにする。 児童同士が話し合った過程を認め、評価する。</p>